

地域での
指導者

交通安全を伝える地域の指導者を支援

交通安全を学ぶ場を全国に拡げ、各地域に定着させるためには交通安全を伝える指導者が必要不可欠です。そのため、Hondaは「手渡しの安全」の担い手となる指導者づくりに取り組んでいます。Hondaの考え方に賛同いただいた行政・警察・関連団体の関係者、交通指導員※、自動車教習所の教習指導員、Honda関連会社の従業員等、地域の指導者に対し、指導方法などの提供を通じて、指導者の主体的な交通安全教育をサポートしています。

※交通指導員=自治体や関係団体等に属し、地域において子どもや中学生・高校生、高齢者に対して交通安全教育を行う職員



47都道府県での指導者づくりが完了

Hondaでは、全国5カ所(下記参照)の各製作所内にある地区普及ブロックがHondaの交通安全教育プログラムを活用した指導を実践するとともに、研修などを通じて、そのノウハウを地域の指導者に伝えています。活動開始から6年目を迎えた今年、47都道府県での指導者づくりが完了。これまでに約1万3000人の指導者を養成しました。

さらに、地域の指導者の継続的な活動をサポートするため、交通指導員の方々を対象にした合同研修会を全国各地で開催しています。今年1月に三重県、2月に静岡県、8月に宮崎県、福島県、埼玉県、兵庫県、佐賀県で開催し、39府県合計216名の交通指導員が参加。相互に日頃の指導方法の実演や意見交換を行い、指導力の向上に役立てていただきました。

地域と一体となった活動を展開

Hondaでは関連企業内にも交通安全の指導者を養成しています。交通安全センターで指定された養成研修を受講した関連企業の従業員を、Hondaパートナーシップインストラクター(HPI)として認定。今年2社10名が新たに認定され、合わせて40社128名が活動しています。HPIは参加体験型の「親子交通



クミ化成(株)名古屋工場のHPIによる愛知県立春日井高等養護学校でのHonda自転車シミュレーターを使った交通安全教室

安全教室」(P13参照)や自社の従業員に向けた交通安全教育などを開催し、各々の関連企業周辺地域における普及活動に取り組んでいます。

また、Hondaは同じ志を持つ16都道府県41校の自動車教習所と連携。教育プログラム・教材や指導者のレベルアップ教育の提供などを通じて、各自動車教習所が主体的に取り組む交通安全活動をサポートしています。

■地区普及ブロック 所在地

- 栃木普及ブロック (栃木県真岡市) TEL:0285-84-7114
- 埼玉普及ブロック (埼玉県狭山市) TEL:04-2955-5323
- 浜松普及ブロック (静岡県浜松市) TEL:053-439-2316
- 鈴鹿普及ブロック (三重県鈴鹿市) TEL:059-370-1553
- 熊本普及ブロック (熊本県大津町) TEL:096-293-3206

運転管理者・
指導者の養成

企業・団体で安全運転教育を推進できる指導者の育成

企業・団体のリスクマネジメントとして、社員の交通事故防止対策は重要な取組みです。社内で安全運転教育を推進するためには、日常的に具体的な指導のできる運転管理者や指導者が必要です。全国7カ所にあるHondaの交通安全センター(P22参照)では、豊富な経験や知識・技能を持つインストラクターが企業・団体での指導者づくりにあたっています。



参加体験型の実践教育により 企業・団体の指導者づくりをサポート

交通安全センターでは、バイク・クルマを業務等で使用する企業・団体の実情に合った交通安全教育のノウハウを提供し、具体的に安全運転教育ができる指導者を育成する研修を開催しています。例えば、鈴鹿サーキット教育センターでは、郵便事業(株)の安全運転指導者への研修を実施。社内で適切な教育を行うための指導方法を身につけていただきました。こうした指導者への研修では、事故防止に関するノウハウを伝えるだけでなく、ドライバーが自分の運転の問題点に気づき、安全運転につながる改善策を自ら導き出せるような指導力を身につける実技を行っています。

また、企業の指導者養成の一環として、Honda社内の事業所における工場インストラクターの養成も担っています。養成された工場インストラクターは、従業員やその家族に交通安全情報を伝えるほか、周辺住民の方々への啓発活動に取り組んでいます。

社内のインストラクターの 指導力向上と均質化をめざす

Hondaのインストラクターの指導力ならびに運転技術の向上を図る場と機会の提供を通じて、日本および全世界に



企業の安全運転管理者などを対象に安全運転指導



11月に鈴鹿サーキット交通安全センターで開催された第14回セーフティジャパンインストラクター競技大会

通用するインストラクターの育成を目的に「セーフティジャパンインストラクター競技大会」を1997年から開催しています。14回目となる今年、国内の交通安全センターや事業所、海外6カ国からインストラクター64名が選手として参加。二輪部門と四輪部門に分かれ、各3種目の競技に加え、指導者としての幅広い知識や指導力を確認するロールプレイングによる「指導力審査」(海外選手は「筆記レポート」)も行い、指導力の向上につなげています。